

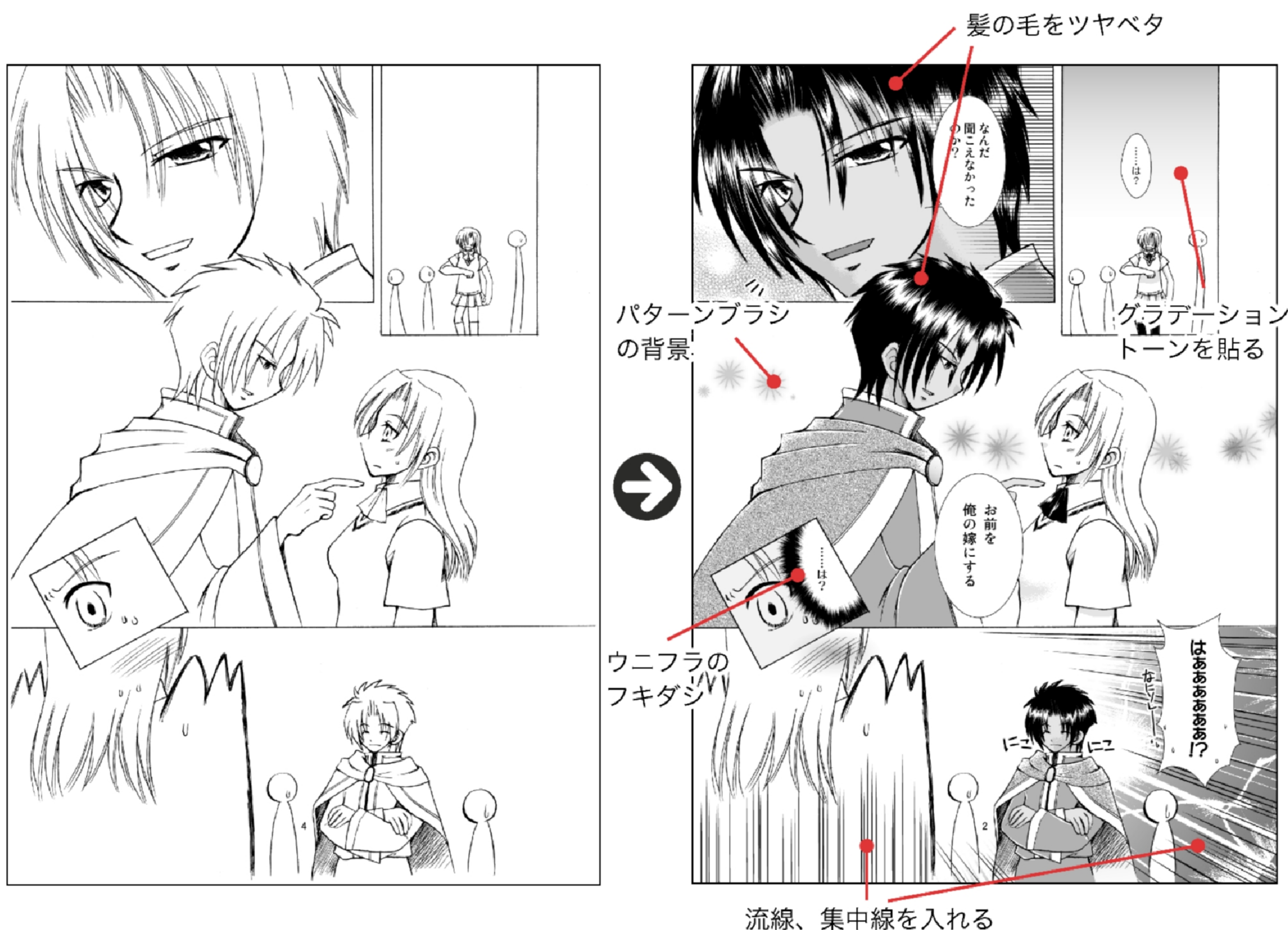
はじめの一歩

# やっぱり紙も好き!

～ペンと紙を ComicStudio で使おう～

## 第6回 仕上げをしよう!～その1 セリフとベタ～

ゴミ取りが終わったら、後は「仕上げ」です。  
ベタ、集中線、トーンを貼って、セリフを入れていきます。今回の原稿の完成イメージはこんな感じ。



今回は、仕上げ作業をこの手順で行っていきます。

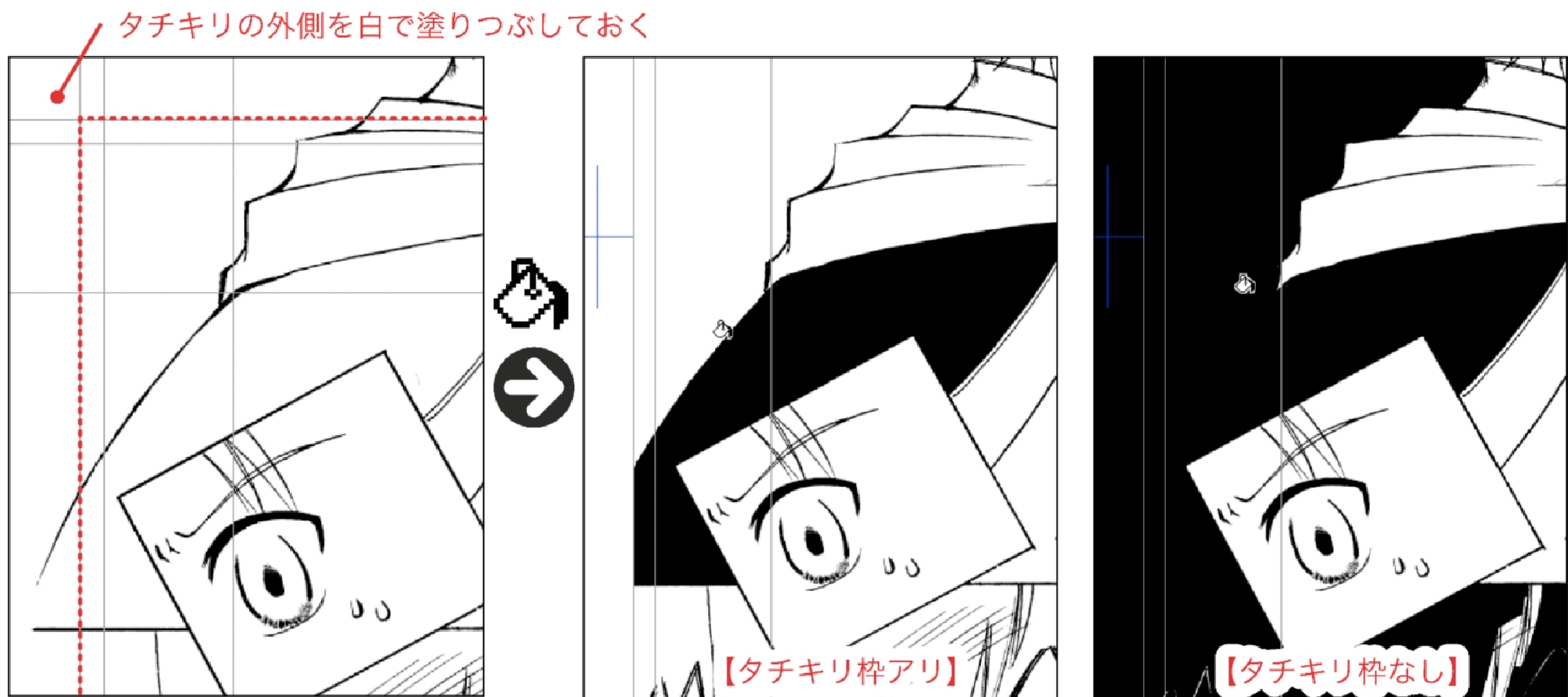
1. セリフ入れ
2. ベタ
3. 集中線
4. 描き文字
5. トーン

仕上げ作業のやり方は、ComicStudio で一から作画する場合も、ペン入れ原稿読み込んで作業する場合もたいして変わりません。作業の順番も、今回紹介する手順をきっちり守る必要はありません。自分のやりやすい順番で行ってください。

## 仕上げ作業の前に……タチキリ枠を作っておこう。

仕上げ作業に入る前に、**タチキリから外を白で塗りつぶしたレイヤー**を作っておきましょう。

これを作っておくと、タチキリまで描いた絵にベタを塗ったり、トーンを貼ったりするときに、線がとぎれていても気にせずマジックワンドや塗りつぶしツールを使うことができます。



では、タチキリ枠を作ってみましょう。

### 【タチキリ枠の作り方】

1. タチキリの位置にガイドを作る
2. 「ガイドにスナップ」のボタンを押して、矩形選択ツールでタチキリに沿って選択範囲を作成する。
3. 選択メニューから「選択範囲を反転」を選ぶ。

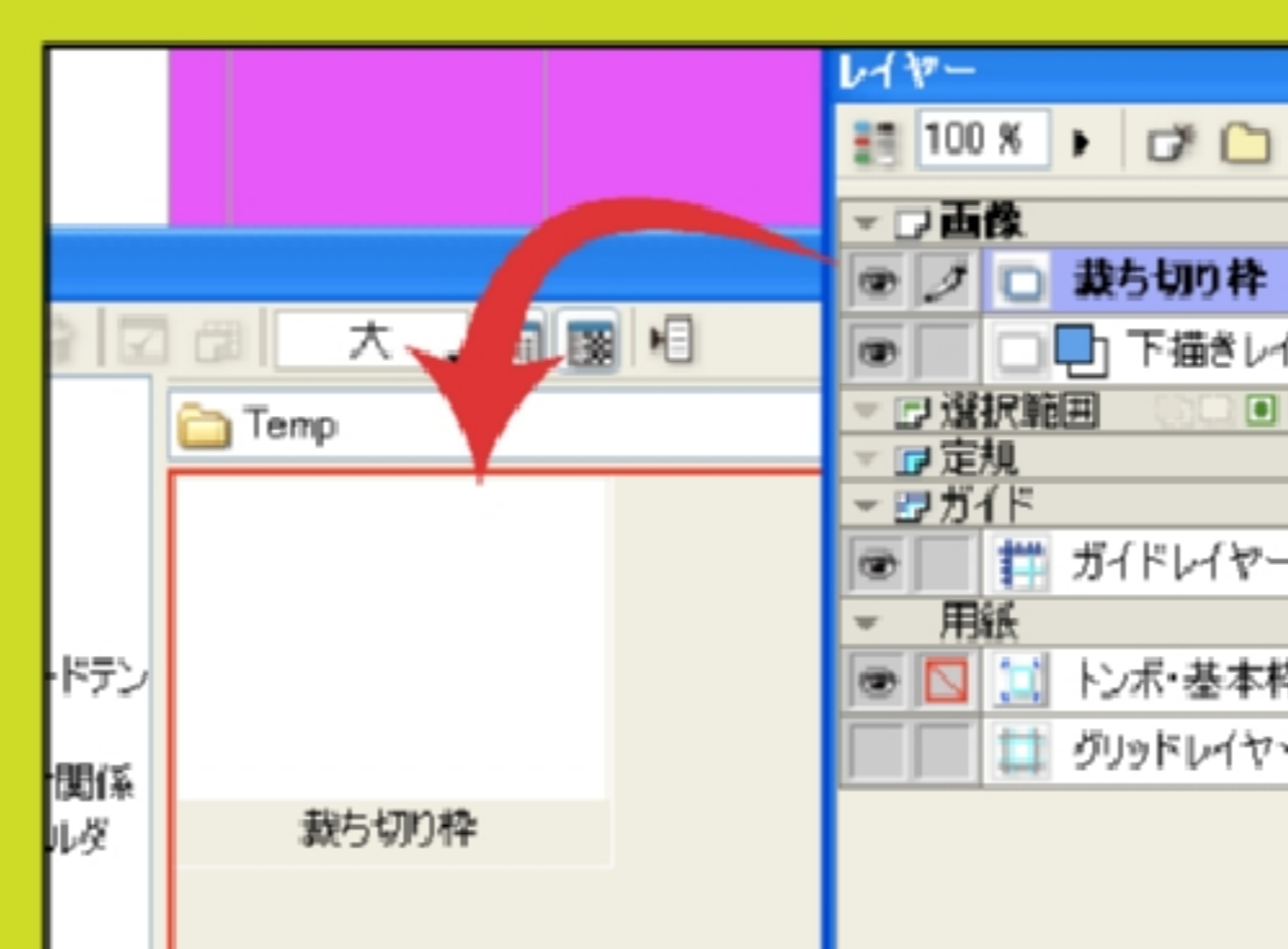
このタチキリ枠のレイヤーの設定は「**白黒 2bit / 下描き**」にしておきます。下描きにしておくと、書き出しの時に枠がいらぬ時は、下描きを書き出さない設定にすればいいので、便利です。マジックワンドや塗りつぶしツールを使う時は、下描きを参照しないのチェックをはずしておきます。

### Memo タチキリ枠は原稿用紙テンプレートかマテリアルに登録しよう

タチキリ枠は原稿用紙テンプレートか素材パレットのマテリアルに登録しておきましょう。何度も使えて便利です。



ファイルメニューの「テンプレートに登録」を選びます。使うときは、新規作成時にテンプレートのユーザーから選びます。



マテリアルのユーザーフォルダにドラッグ&ドロップで登録できます。使うときは素材をダブルクリックし、「素材の貼り付け」を選びます。

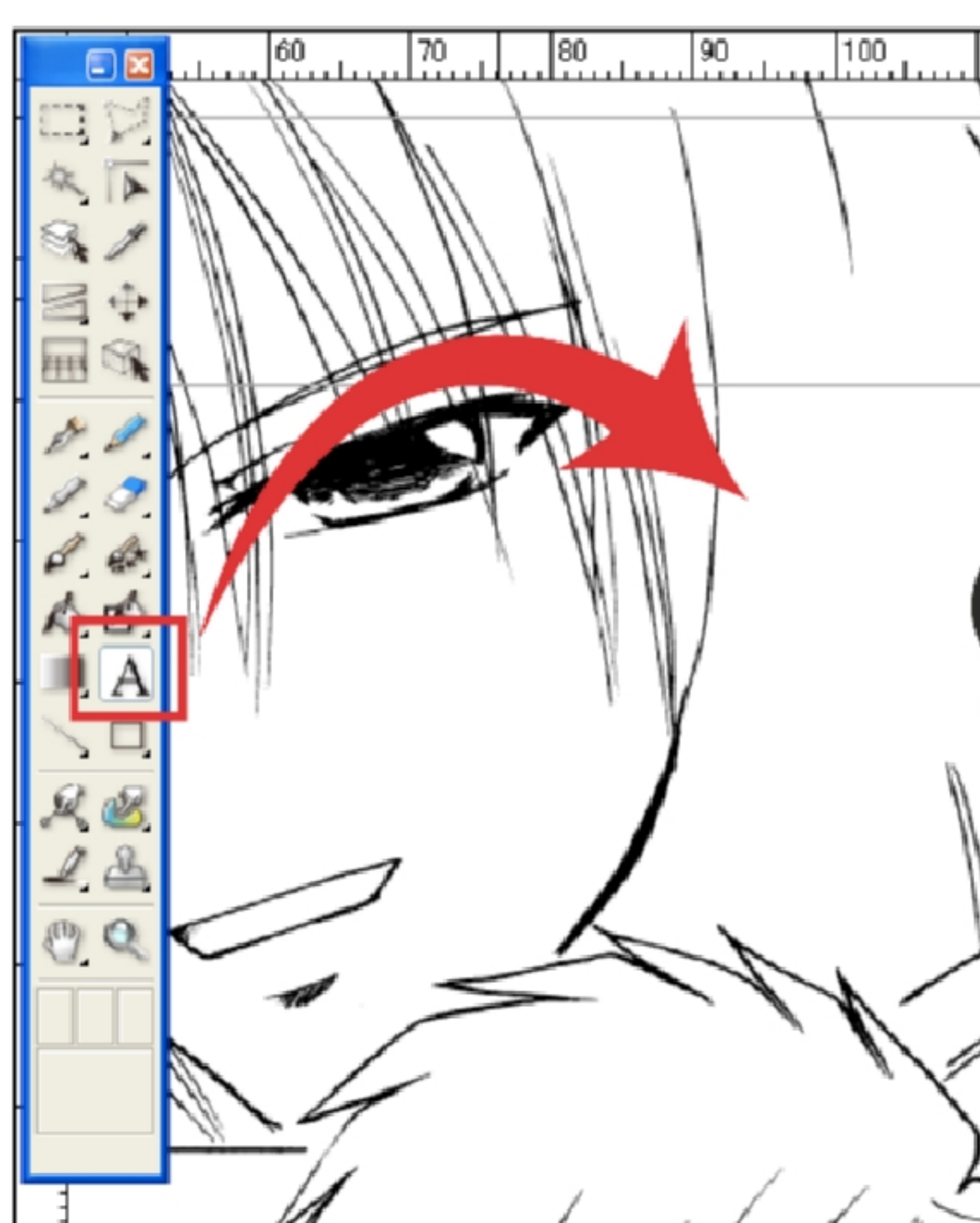
## セリフを入れる

最初にセリフを入れていきます。

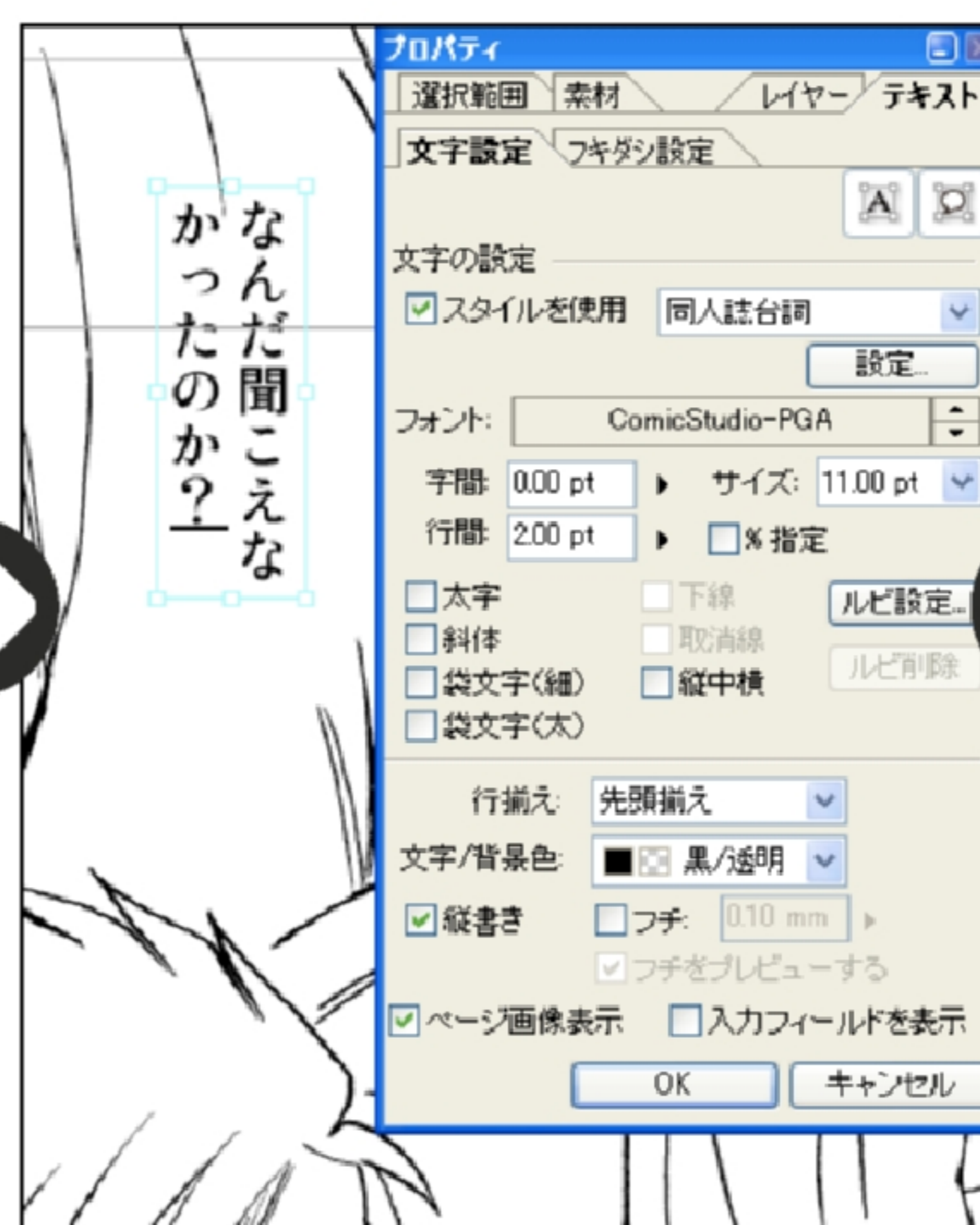
私の場合、仕上げの前にセリフを入れておかないと、セリフの入る場所がなくなったりするので、セリフは最初に入れるようにしています。セリフはテキストツールをつかって入れていきます。

### 【セリフの入力】

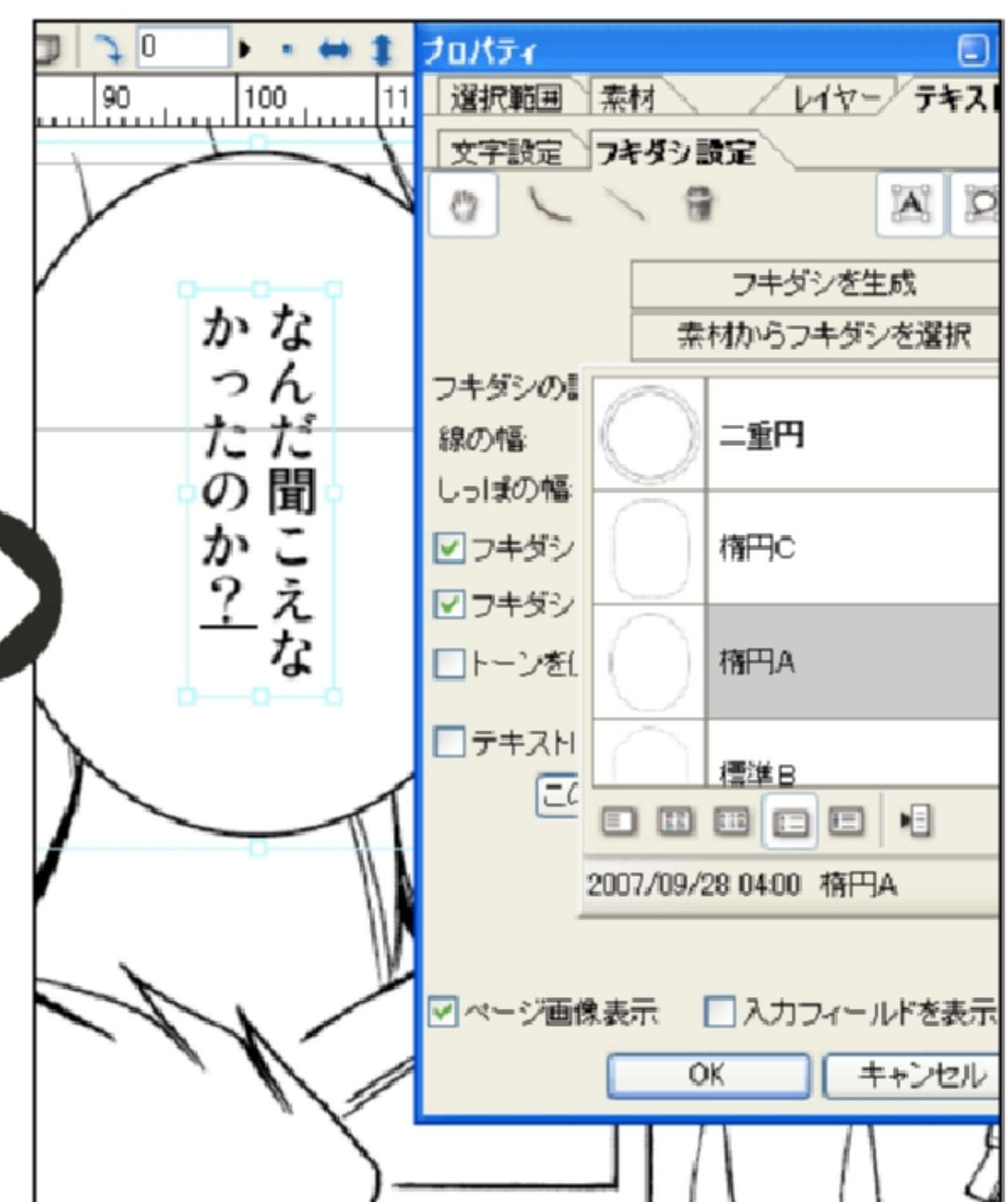
1. テキストツールを選び、セリフを入れたいところをクリック。
2. セリフを入力し、フォントやサイズを調整する。
3. フキダシをつけたい時は、プロパティパレットの「フキダシ設定」をクリックし、フキダシをつける。



テキストツールを選んでクリック



セリフを入力する

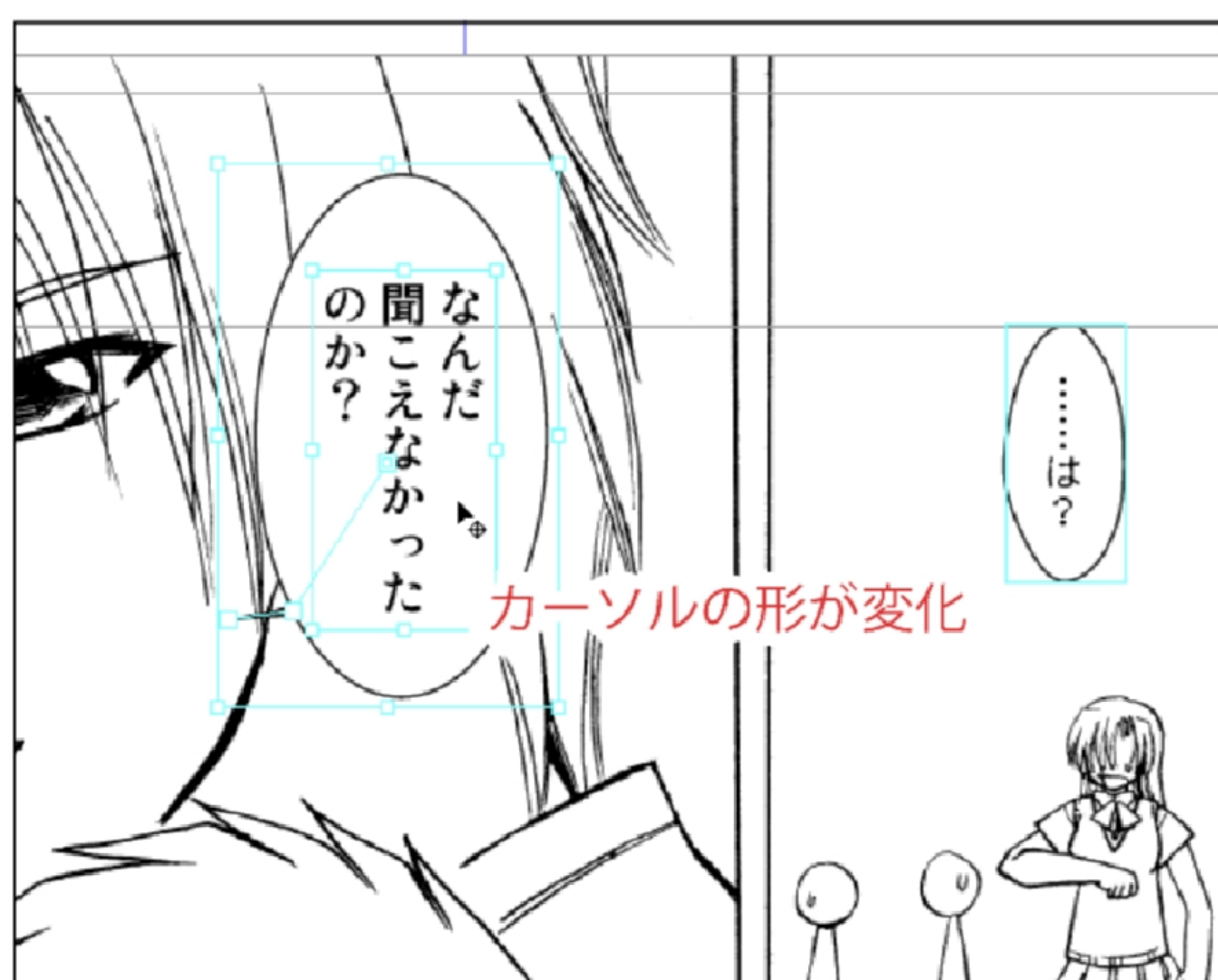


フキダシをつける

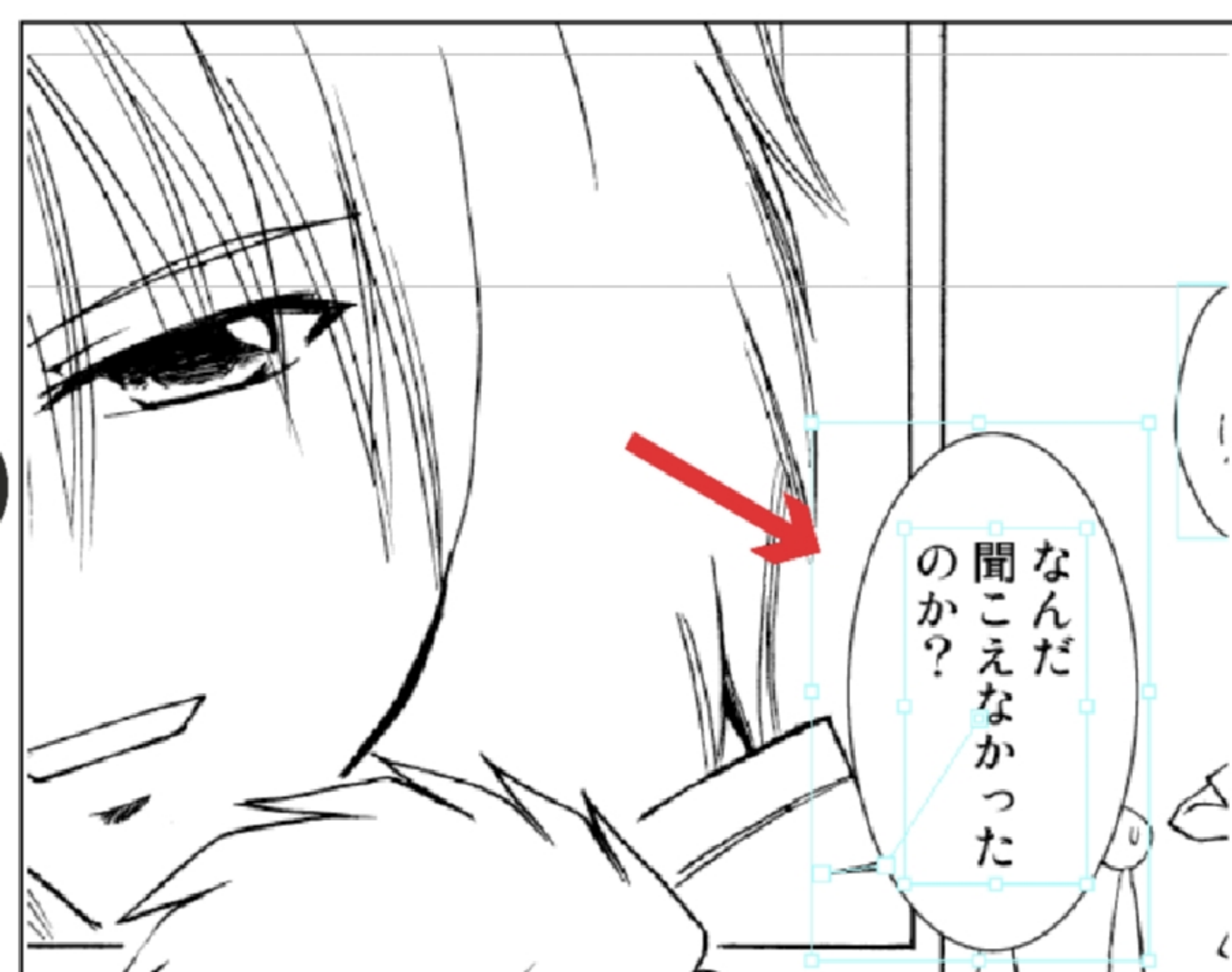
セリフは内枠におさまるようにします。

ツールオプションで「テキストフォルダに格納する」をチェックしておくで、入力したセリフは「テキストフォルダ」に自動的に格納されます。自動的にフォルダに格納されるので、テキストレイヤーが多い時に便利です。

入力したテキストを移動したい時は、移動したいテキストレイヤーを選択して、レイヤー移動ツールで移動するか、テキストツールで入力したテキストのテキストレイヤー領域をドラッグすると移動できます。

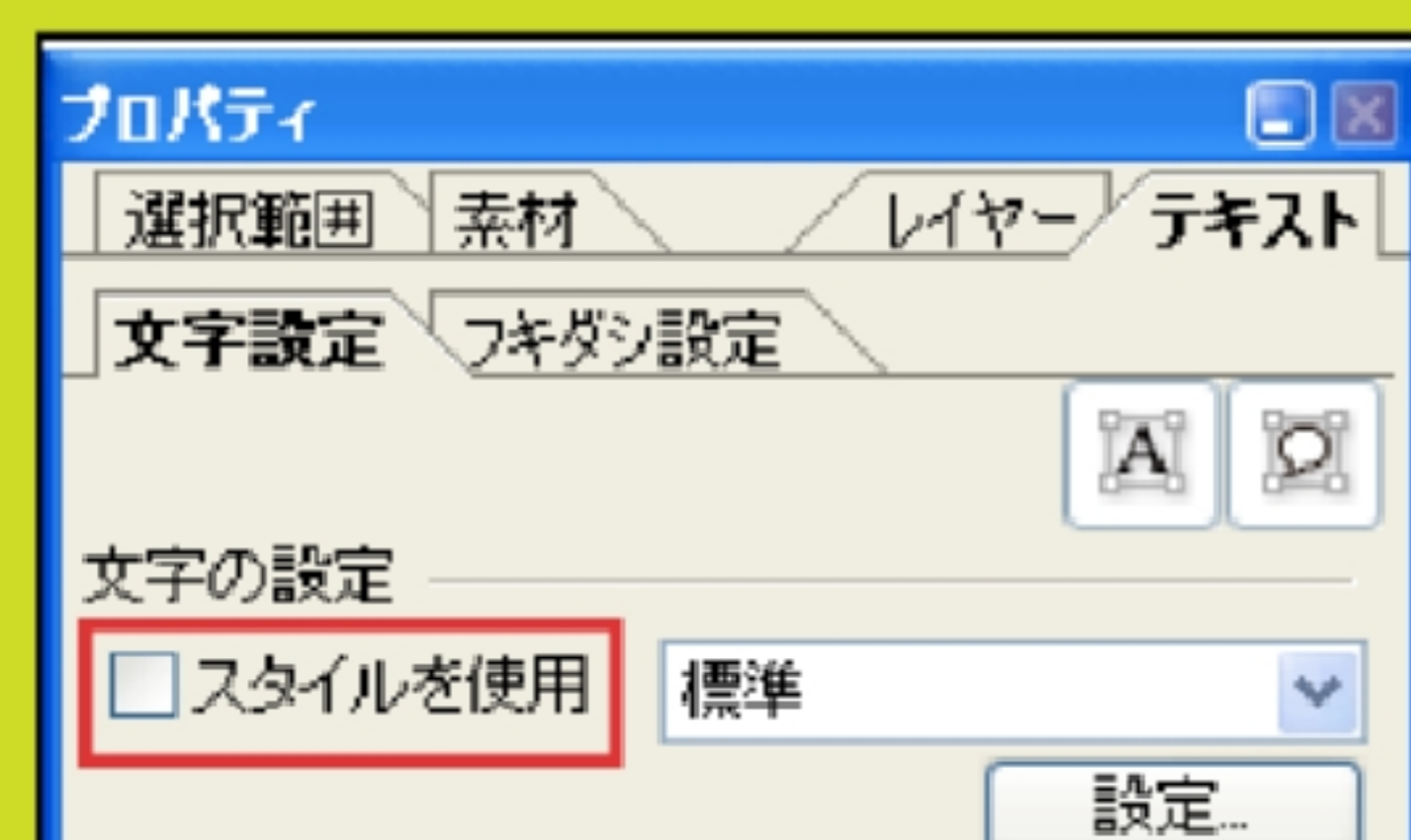


移動したいセリフにカーソルを近づけると…



ドラッグするとテキストを移動できる

## Memo スタイルの設定

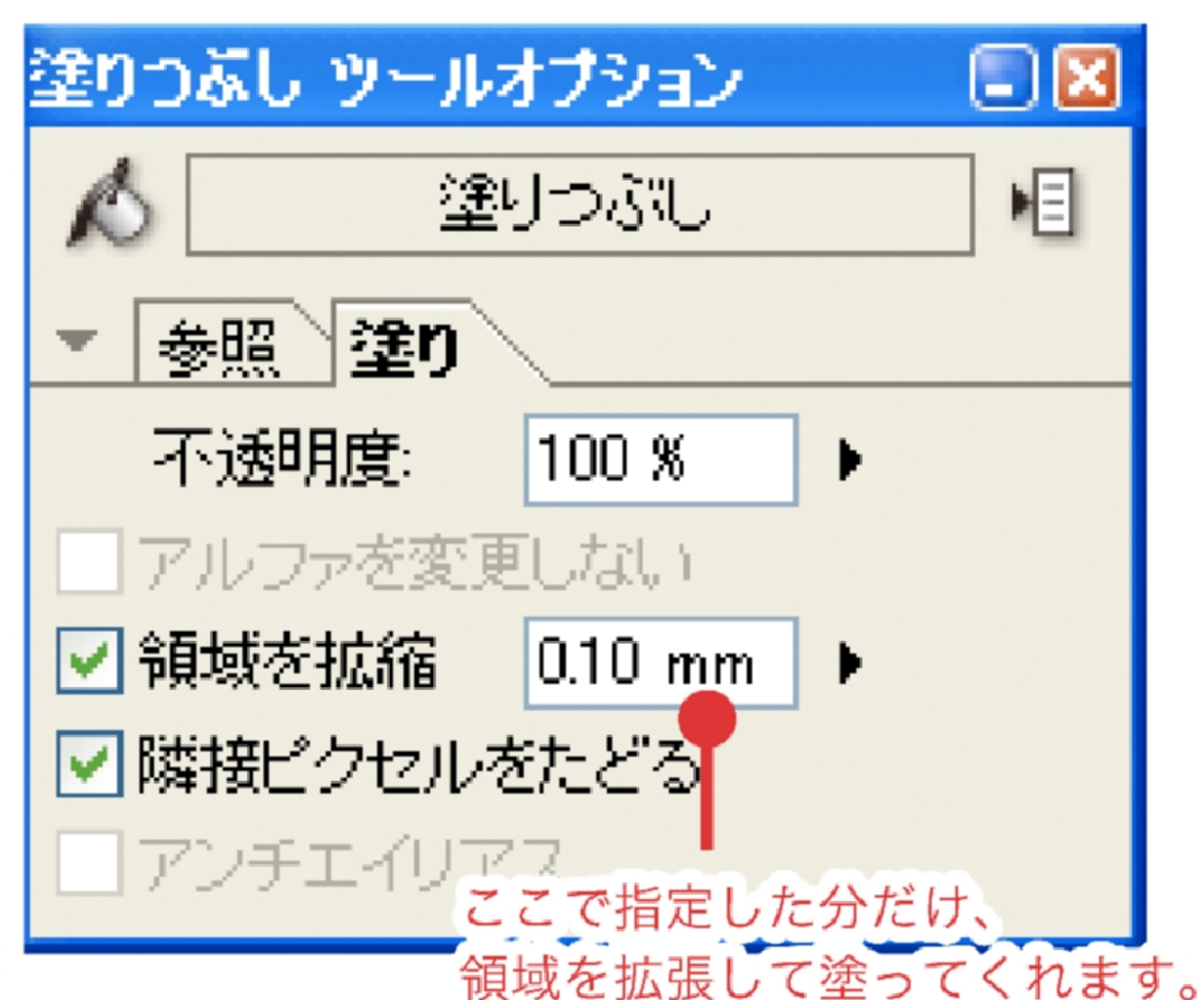
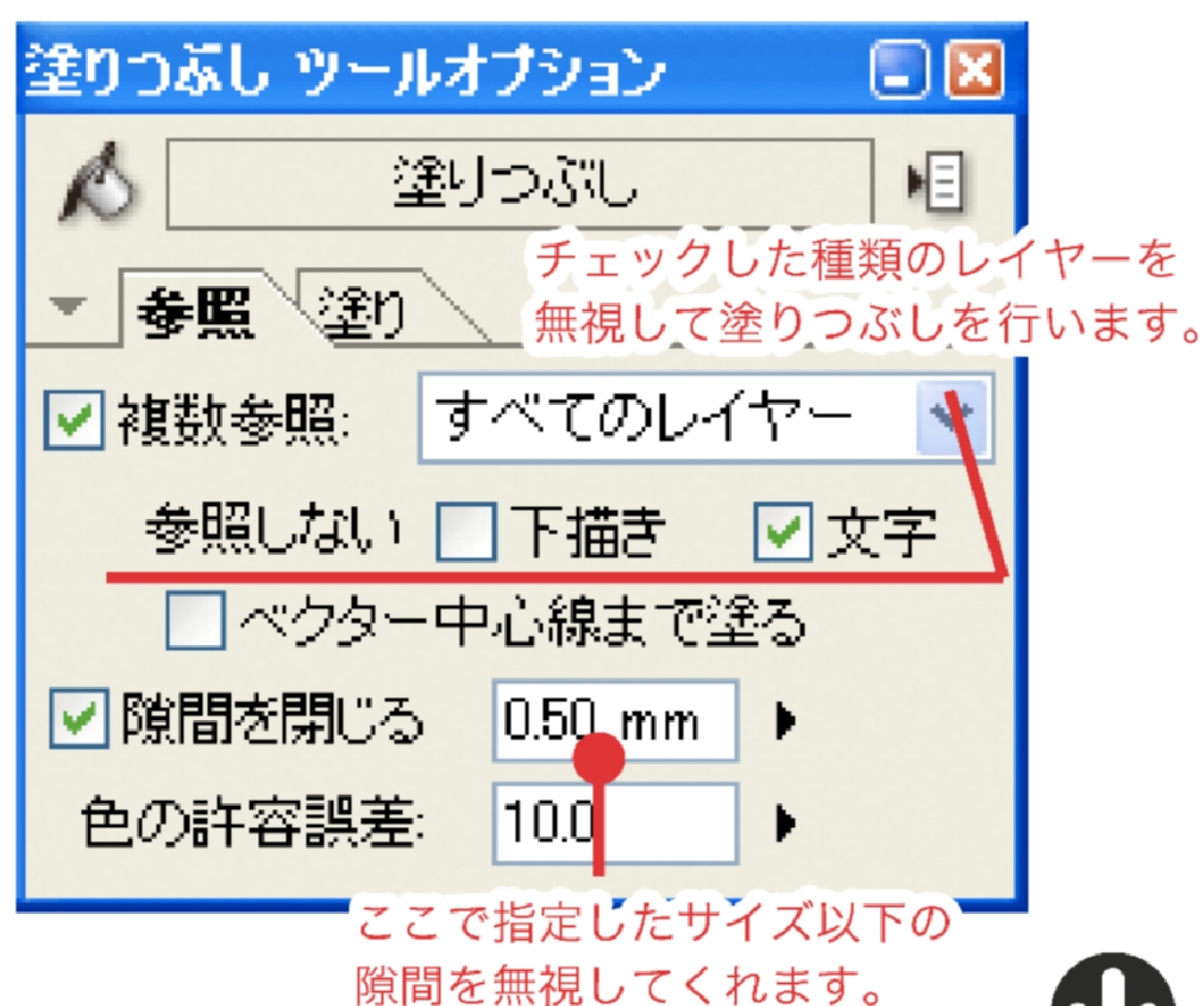


ComicStudio のテキストツールではスタイルの設定ができます。この項目にチェックが入っていると、セリフ入力の際にスタイルが優先されます。普段はチェックをはずしておいて、スタイルを使う時だけチェックを入れると便利です。

## ベタ & ツヤベタを入れる

セリフを入れ終わったら、今度はベタを塗っていきます。  
ここでは、目の中など単純に塗りつぶす部分は線画のレイヤーに直に塗りつぶし、ツヤベタなどの効果を入れるベタは新しくベタ用のレイヤーを作って作業していきます。

塗りつぶす時は、「塗りつぶしツール」を使います。  
塗りつぶしツールの設定は以下のようにすると便利です。



あとは、ベタを塗りたい所をクリックしていけば、ベタを塗ることができます。

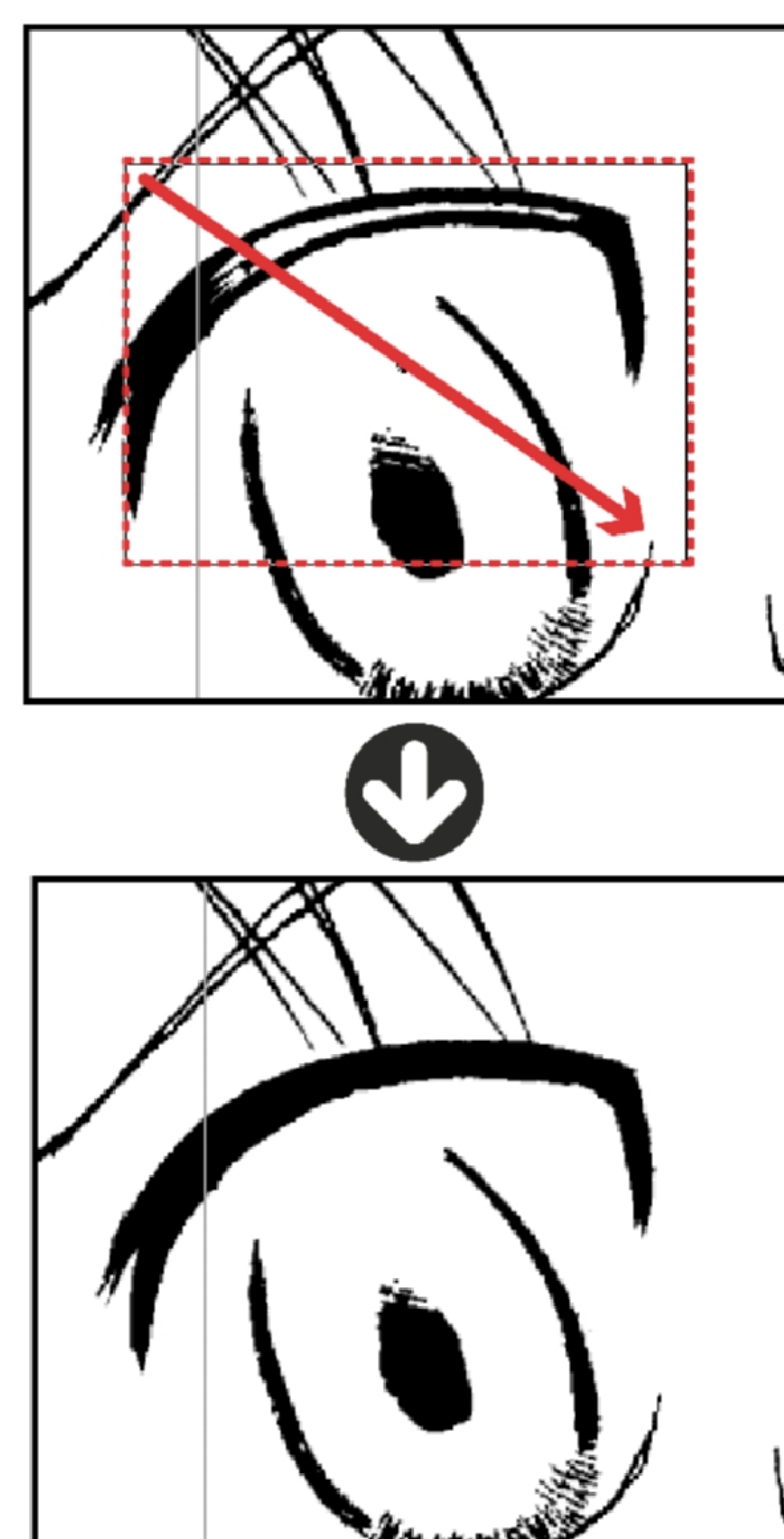
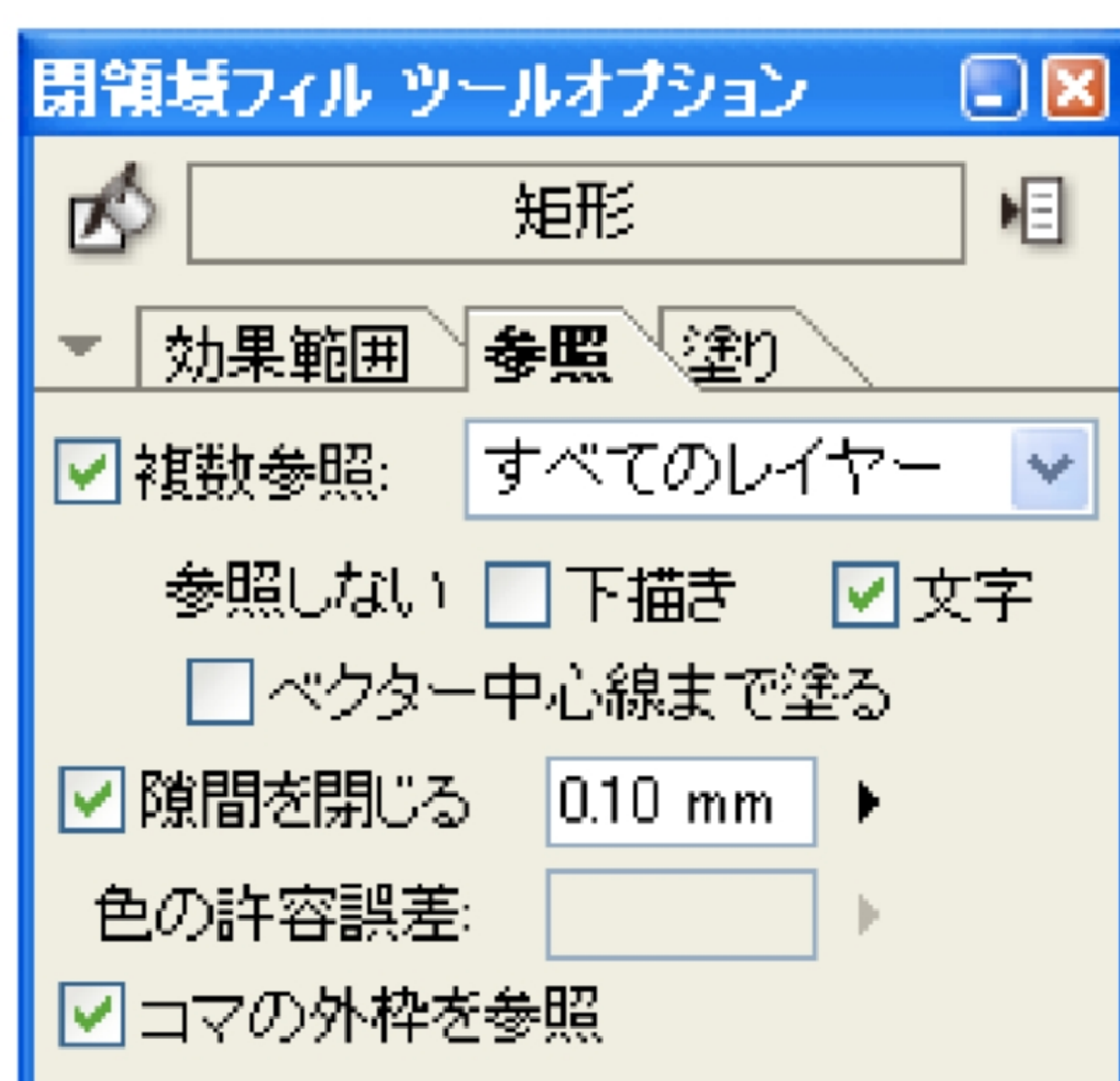
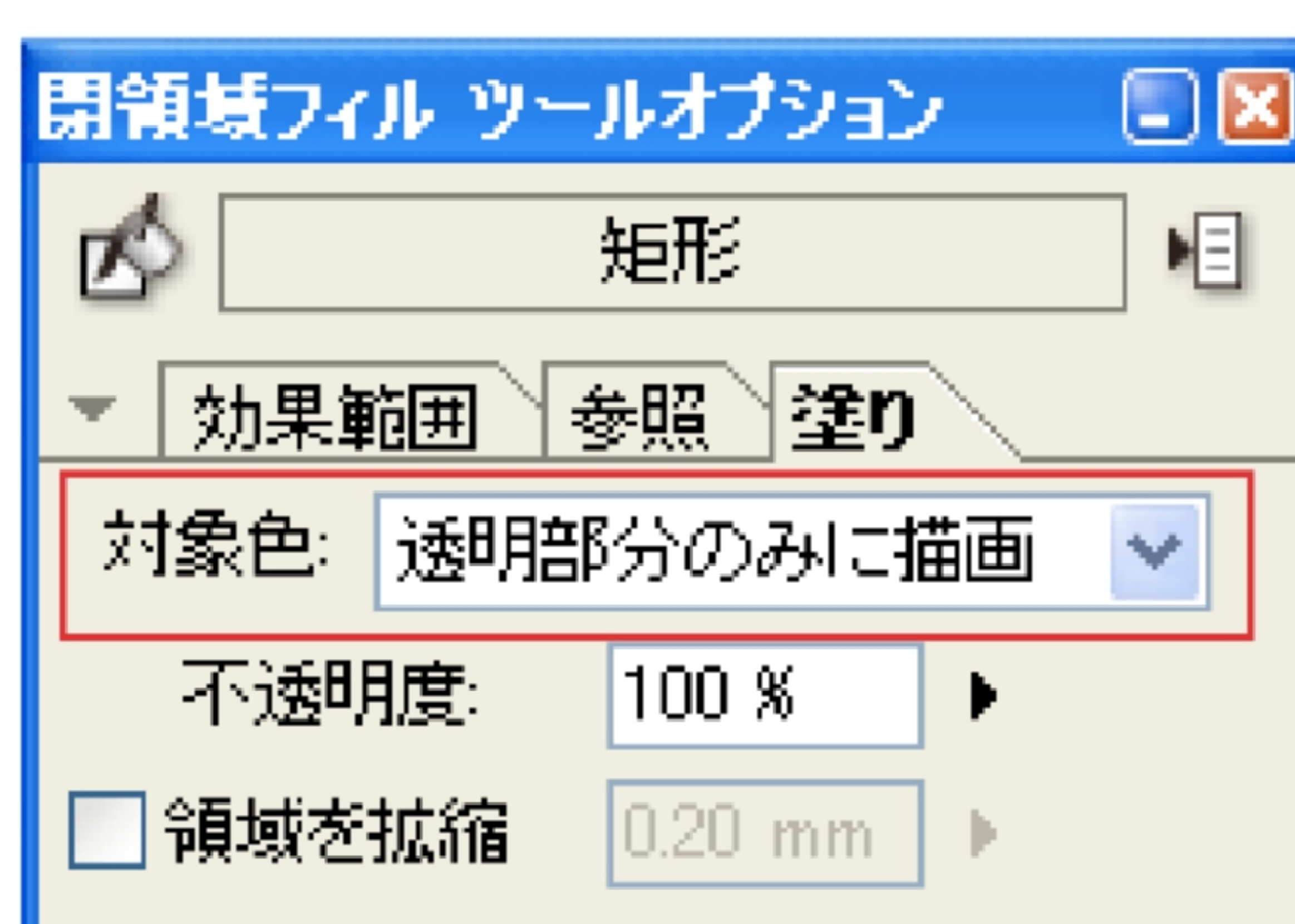
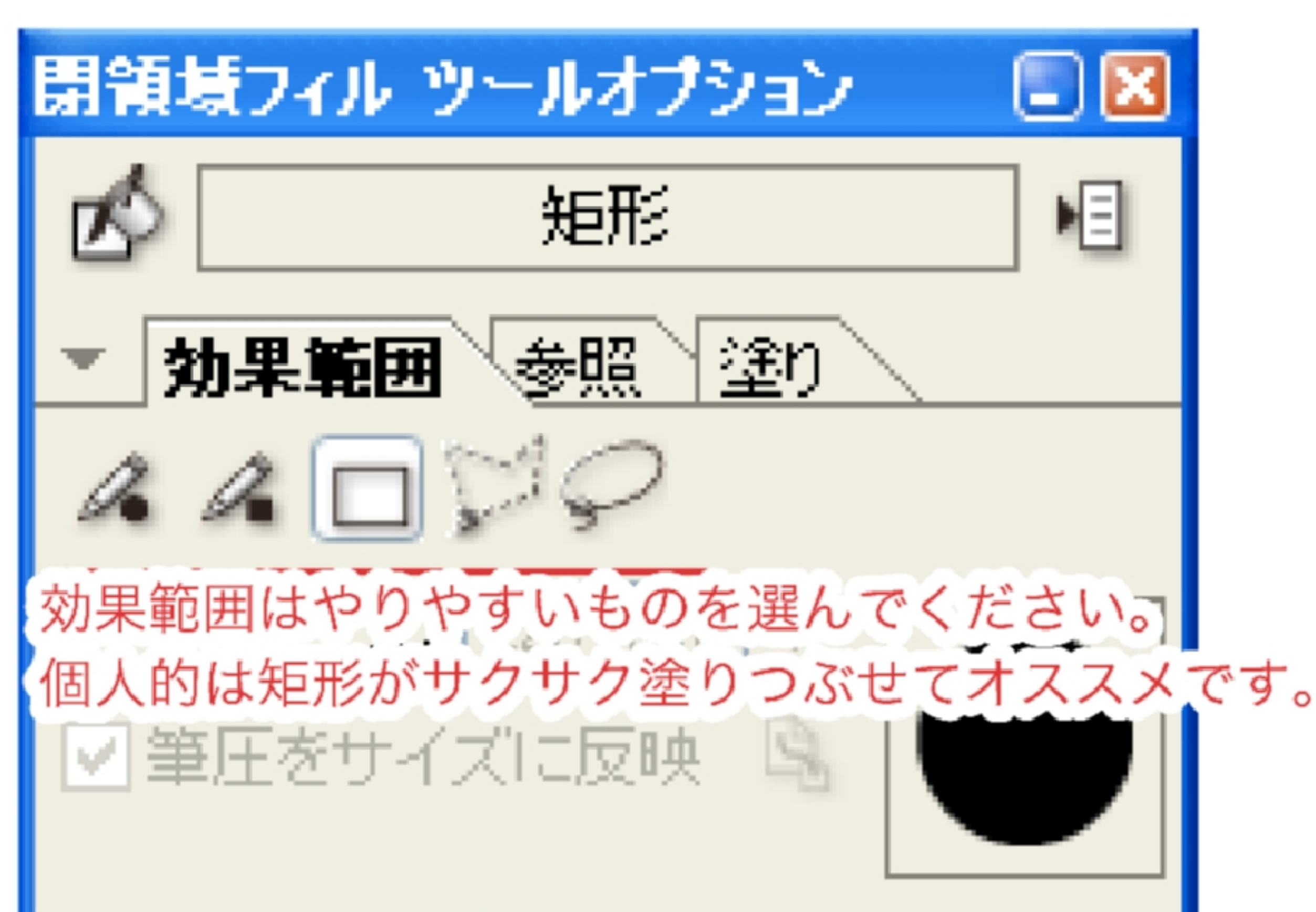
塗りつぶしツールで塗りにくい細かい場所や、細かな塗りもれは「閉領域フィル」を使うと便利です。

### Memo 閉領域フィルとは？

指定した範囲の、閉じた空間だけを塗りつぶしてくれるツール。細かいところのベタを塗るのに便利。



閉領域フィルを以下の設定にして、細かな塗りもれを塗っていきます。



ベタが終わったら、次はツヤベタです。

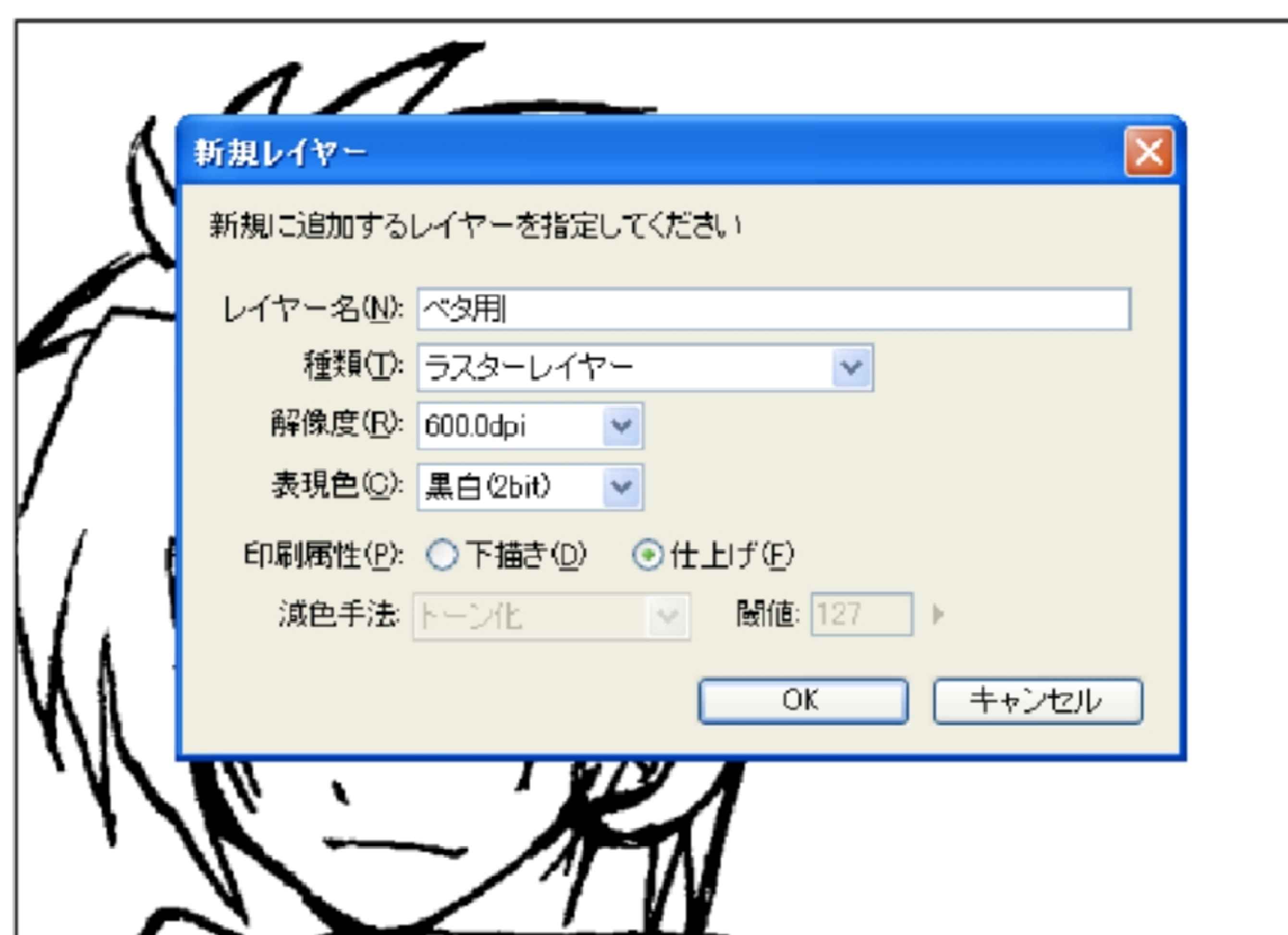
ベタが終わったら、次はツヤベタです。

#### 【ツヤベタの手順】

1. ツヤベタ用のレイヤーを作ります。
2. ペンツールの「筆」を選びます。
3. ツヤベタをしていきます。
4. はみ出たところを消して、不透明度、表示色を元に戻します。

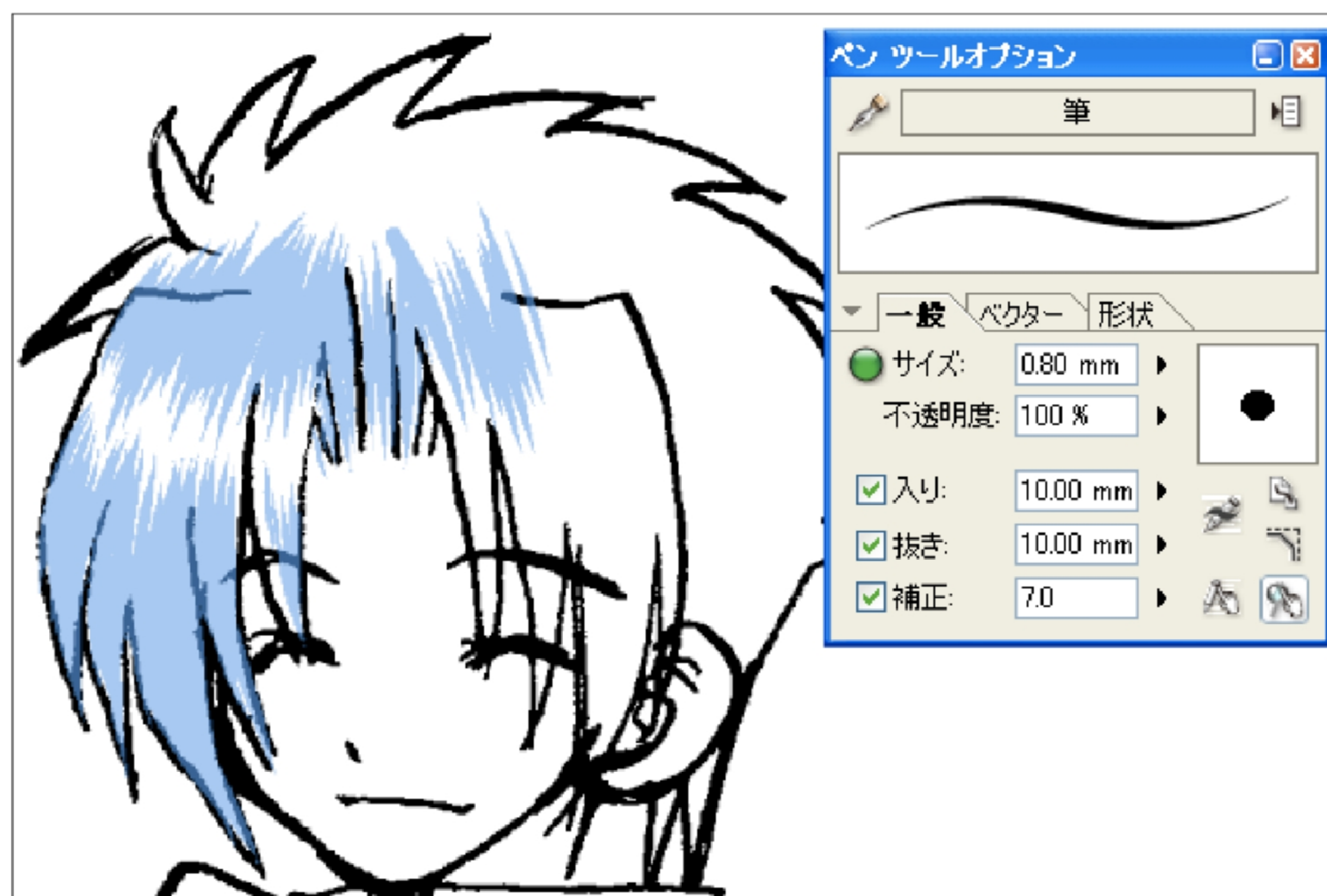
#### Step1 ツヤベタ用のレイヤーを作ります。

「ラスターレイヤー／600dpi／白黒 2bit／仕上げ」でレイヤーを作ります。  
作ったレイヤーは、カラー表示にし、不透明度を下げておくと、ツヤベタしやすくなります。



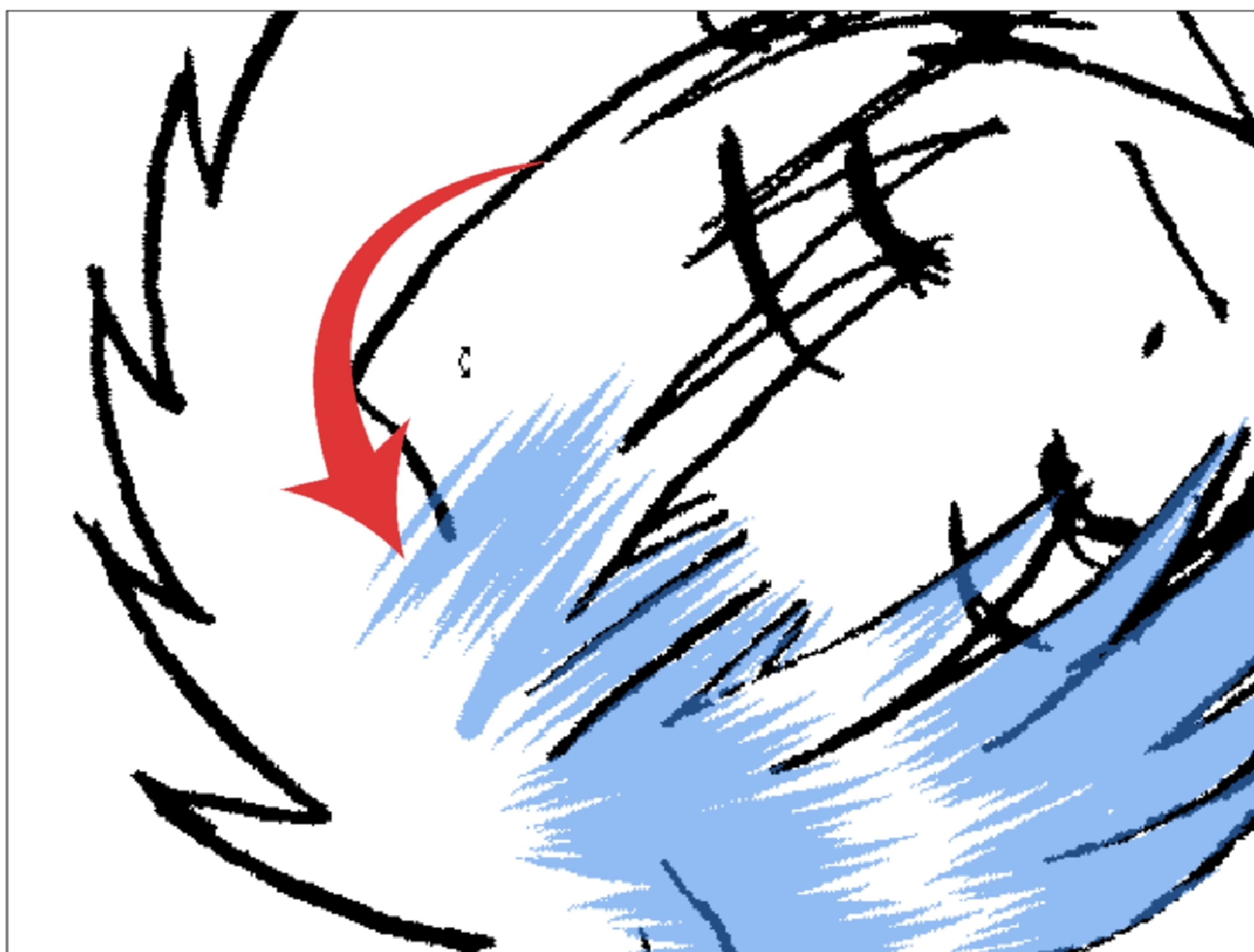
#### Step2 ペンツールの筆を選びます。

筆の太さはデフォルトではちょっと太めです。絵にあわせてサイズを調整しましょう。  
ここでは 0.8mm でツヤベタしていきます。



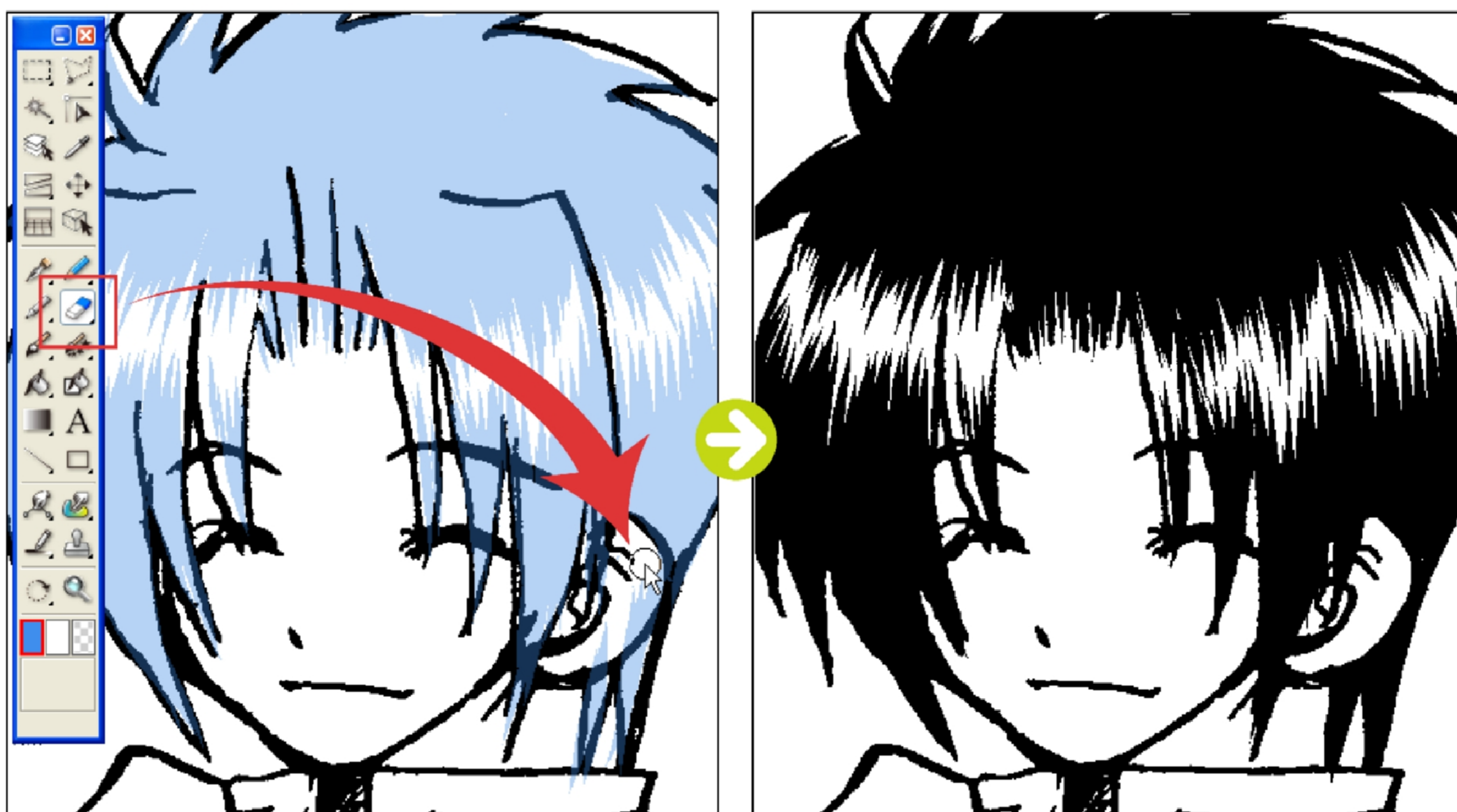
**Step3 ツヤベタをしていきます。**

「shift+スペースキー」を押しながら画面をドラッグすると、原稿を好きな角度に回転させることができます。ツヤベタを入れやすい角度に回転させながら作業していきます。



**Step4 はみ出たところを消して、不透明度、表示色を元に戻します。**

ツヤベタが終わったら、はみ出たところを消しゴムで消し、表示色と不透明度を元に戻して完成です。



ベタ、ツヤベタが終わりました。次回は集中線やトーンを貼っていきます。